

官報

號外 昭和十五年三月二十一日

○第七十五回 貴族院議事速記錄第二十三號

昭和十五年三月二十日(水曜日)午前十時十分開議

議事日程 第二十三號

昭和十五年三月二十日

午前十時開議

第一 市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案(政府提出)(衆議院送付)

第一讀會

第二 現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案(政府提出)(衆議院送付)

第一讀會

第三 職業紹介法中改正法律案(政府提出)(衆議院送付)

第一讀會

第四 商業組合法中改正法律案(政府提出)(衆議院送付)

第一讀會

第五 損害保險國營再保險特別會計法案(政府提出)(衆議院送付)

第一讀會

第六 臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)(衆議院送付)

第一讀會

第七 陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)(衆議院送付)

第一讀會

第八 日本肥料株式會社法案(政府提出)(衆議院送付)

第一讀會

第九 昭和十三年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會 議

第十 昭和十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會 議

第十一 昭和十三年度特別會計豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會 議

第十二 昭和十四年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會 議

第十三 昭和十四年度豫備金外豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會 議

第十四 昭和十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會 議

第十五 昭和十四年度特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會 議

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 報告ヲ致サセマス

一昨十八日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府

提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

昭和十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

昭和十二年法律第九十號中改正法律案同日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

所得稅法改正法律案特別委員會

委員長 伯爵林 博太郎君

副委員長 男爵松岡 均平君

地方稅法案特別委員會

委員長 子爵前田 利定君

副委員長 男爵紀 俊秀君

昨十九日會計檢査院法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵加藤 泰通君

副委員長 男爵渡邊 修二君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案

現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案

職業紹介法中改正法律案

商業組合法中改正法律案

損害保險國營再保險特別會計法案

臨時資金調整法中改正法律案

陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例

ニ關スル法律案

昭和十三年度第一豫備金支出ノ件

昭和十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和十三年度特別會計豫備費支出ノ件

昭和十四年度第二豫備金支出ノ件

昭和十四年度豫備金外豫算外支出ノ件

昭和十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件

昭和十四年度特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件

日本肥料株式會社法案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨

通牒ヲ受領セリ

裝蹄師法案

家畜傳染病豫防法中改正法律案

牧野法中改正法律案

獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案

輸出毛織物取締法案

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 去ル十七日、家彦王殿下貴族院令第二條ニ依リ議席ニ列セラレマシタ、仍テ部屬ヲ第三部ニ定メマシタ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キス、御諮ヲ致スコトガゴザイマス、子爵梅小路定行君ハ、本院議員トシ

テ既ニ在職三十年以上ニ達セラレ、常ニ精勵恪勤、克ク議員タルノ職責ヲ盡サレマシタ、就キマシテハ、先例ニ依リマシテ、此ノ際院議ヲ以テ同君多年ノ功勞ヲ表彰致シタイト存ジマス、尙其ノ表彰文ノ起草ハ、之ヲ議長ニ御委セテ願ヒタイノデアリマス、以上議長ノ發議ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔起立者多數〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 梅小路子爵ヲ除キマシテ、全會一致ト認メマス、就キマシテハ、議長ノ手許ニ於テ起草致シマシタ表彰文案ヲ、是ヨリ朗讀ヲ致シマシテ御諮ヲ致シマス

從二位勳三等子爵梅小路定行君貴族院議員ノ任ニ在ルコト三十年精勵恪勤力ヲ憲政ノ濟美ニ效セリ貴族院ハ君ガ積年ノ功勞ヲ憶ヒ茲ニ院議ヲ以テ之ヲ表彰ス只今朗讀ヲ致シマシタ表彰文案ニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、尙表彰文ノ贈呈方ハ議長ニ於キマシテ之ヲ取計ラヒマス、此ノ際梅小路子爵ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマスルカラ之ヲ許シマス、梅小路子爵

〔子爵梅小路定行君演壇ニ登ル〕

○子爵梅小路定行君 チョット御挨拶ヲ申上ゲマス、不肖私、貴族院議員ト致シマシテ三十年間在職致シテ居リマシタ廉ヲ以テ、特ニ只今院議ヲ以テ表彰ヲ戴キマシタコトハ、誠ニ身ニ餘ル光榮デゴザイマシテ感激

ノ至リニ堪ヘマセス、此ノ長キ三十年ノ間、聊カ微力ヲ捧ゲテ参リマシタノデアリマスルガ、其ノ間幸ニ大過ナク無事ニ今日ヲ迎ヘ、又今日ノ光榮ニ浴スルコトヲ得マシタコトハ、偏ニ歷代ノ議長、副議長兩閣下、同僚各位ノ御懇篤ナル御指導ト御援助ノ賜ニ外ナラスコトト存ジマス、此ノ際此ノ場合ニ於キマシテ、先ヅ以テ此ノ點ニ付テ深ク感謝ノ意ヲ表スル次第デゴザイマス、私モ淺學非才ノ上ニ、最早本年七十六歳ト云フ老齡ニ達シマシテ、段々總テノ力ガ衰ヘテ参リマスルシ、今後定メテ御役ニ立タナイコトト懸念致シテ居リマスルガ、此ノ上ナガラ皆様方ノ倍舊ノ御指導ト御援助トヲ冀ヒマシテ、健康ノ許シマスル限リ職務ニ盡シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、何卒宜シク御願ヲ申上ゲマス、茲ニ謹ンデ本日ノ御決議ニ對シテ深甚ノ敬意ヲ表シ、厚ク御禮ヲ申上ゲテ御挨拶ヲ終ラウト存ジマス

〔拍手起ル〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 日程ニ移リマス、日程第一、市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案、日程第二、現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ兩案ハ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、松浦文部大臣

〔左ノ送付文及法律案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十五年三月十九日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案

義務教育費國庫負擔法

第一條 市町村立尋常小學校ノ教員(代用教員ヲ含ム)ノ俸給ノ爲北海道地方費及府縣ニ於テ要スル經費ノ半額ハ國庫ノ負擔ス

第二條 前條ノ規定ニ依リ國庫ノ負擔スル金額ハ毎年度之ヲ北海道地方費及府縣ニ交付ス

第三條 第一條ノ規定ノ適用ニ付テハ市町村立尋常高等小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授クベキ部分ハ之ヲ市町村立尋常小學校ト看做ス

第四條 第一條ノ代用教員ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
昭和七年法律第二號ハ之ヲ廢止ス

現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十五年三月十九日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案

現役小學校教員俸給費國庫負擔法中左ノ通改正ス

第一條中「市町村ニ於テ」ヲ「北海道地方費及府縣ニ於テ」ニ改ム

第二條中「市町村」ヲ「北海道地方費及府縣」ニ改ム

第三條 第一條ノ規定ニ依リ國庫ニ於テ負擔スル市町村立小學校正教員ノ俸給費ハ義務教育費國庫負擔法ノ適用ニ付テハ同法第一條ノ俸給ノ爲北海道地方費及府縣ニ於テ要スル經費ニ之ヲ算入セズ

第四條ヲ削ル

附則

本法ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ實施ス

〔國務大臣松浦鎮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(松浦鎮次郎君) 只今上程致サレマシタ市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案竝ニ現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案ノ二件ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、今回中

央地方ヲ通ズル税制ノ改正ニ當リマシテ、財政上並ニ教育上ノ必要ヨリ、市町村立小學校教員ノ俸給ヲ、市町村ノ負擔カラ北海道及府縣ノ負擔ニ移スコト致シマスノデ、從來市町村ニ交付致シテ居リマシタ市町村立尋常小學校教員俸給ニ對スル國庫負擔金ヲ、北海道及府縣ニ交付スルノ必要ヲ生ジマスルシ、且又此ノ國庫負擔金ニ付キマシテモ、八千五百萬圓ヲ下ラナイ一定額ヲ負擔スルノ現制ヲ改メマシテ、市町村立尋常小學校教員俸給ニ要シマスル經費ノ二分ノ一ノ定率ヲ以テ負擔スルコト致シマシタノデ、此ノ趣旨ニ從ヒマシテ、市町村義務教育費國庫負擔法並ニ現役小學校教員俸給費國庫負擔法ヲ改正致サムトスルモノデアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案外一件ハ、重要ナル法案デアリマスルガ爲ニ、此ノ特別委員ノ數ヲ十八名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 贊成
○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス
〔白木書記官朗讀〕
市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案

外一件特別委員

公爵山縣 有道君 侯爵大炊御門經輝君
伯爵柳原 義光君 關屋貞三郎君
子爵松平 保男君 子爵織田 信恒君
子爵錦小路賴孝君 內田 重成君
建部 遯吾君 男爵中川 良長君
男爵大森 佳一君 男爵關 義壽君
田所 美治君 澤田 牛麿君
松本 學君 竹下 豐次君
山隈 康君 松井貞太郎君

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 日程第三、職業紹介法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、吉田厚生大臣

職業紹介法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月十九日

衆議院議長 小山 松壽
貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

職業紹介法中改正法律案

職業紹介法中左ノ通改正ス
第七條 削除
第十四條中「町村ニ關スル規定ハ町村ニ準ズベキモノニ、」ヲ削ル
附則
本法ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣(吉田茂君) 只今議題トナリマシタ職業紹介法中改正法律案ニ付キマシテ、

提案ノ理由ヲ御說明申上ゲマス、現行ノ職業紹介法ハ、施行以來一年有半ヲ經過致シタノデアリマスガ、其ノ間支那事變ノ進展ニ伴ヒマシテ、職業紹介事業ハ専ラ軍需勞務生産力擴充計畫、産業勞務等、刻下最モ緊急ナル勞務ノ需要ヲ充シマスル爲ノ勞務者斡旋ニ銳意努力シナケレバナラスヤウニ相成リマシタノミナラズ、職業紹介所ニ於キマシテハ、國家總動員法ニ基ク各種ノ勞務規制ニ關スル事務ヲモ管掌スルコト相成リマシタノデ、地方財政ノ實情ヲモ併セ考慮致シマシテ、職業紹介所及聯絡委員ニ關スル費用ノ地方負擔ヲ廢止致シマスル爲ニ、此ノ改正法律案ヲ提出スルニ至リマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御質疑ガナケレバ、本案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス
〔白木書記官朗讀〕
職業紹介法中改正法律案特別委員
侯爵德川 賴貞君 子爵由利 正通君
有吉 忠一君 平塚 廣義君
男爵高崎 弓彦君 男爵明石 元長君
長岡隆一郎君 名取 忠愛君
佐藤助九郎君

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 日程第四、商業組合法中改正法律案、日程第五、損害保險國營再保險特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ兩案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナト認メマス、加藤商工政務次官

商業組合法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月十九日

衆議院議長 小山 松壽
貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

商業組合法中改正法律案

商業組合法中左ノ通改正ス
第四條 商業組合ハ其ノ名稱中ニ商業組合ナル文字ヲ用フベシ但シ第十七條ノ二又ハ第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ハ統制商業組合ナル文字ヲ用フベシ商業組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ商業組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ
第十七條ノ二又ハ第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ニ非ザル商業組合ハ其ノ名稱中ニ統制商業組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ
第十一條第一項ヲ左ノ如ク改ム
本法ニ依リ登記スベキ事項ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ事實ノ生ジタル後二週間以内ニ之ヲ登記スベシ
第二十一條ノ三 行政官廳監督上特ニ必要アリト認ムルトキハ第三條第一項第二號ノ事業ヲ行フ商業組合ノ理事又ハ

監事ノ選任又ハ解任ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ選任セラレタル理事又ハ監事ノ解任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

特別ノ事情アル場合ニ於テハ行政官廳ハ第三條第一項第二號ノ事業ヲ行フ商業組合ノ定款又ハ第七條ノ規程ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第三十二條ノ二 商業小組合ハ小商業者ヲ以テ之ヲ組織シ組合員ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルヲ以テ目的トシ組合員ノ取扱商品ノ仕入、保管、運搬其ノ他組合員ノ營業ニ關スル共同施設ヲ爲スモノトス

前項ノ小商業者ノ範圍ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

商業小組合ハ法人トス

商業小組合ハ第一項ノ事業ノ外組合員ノ營業ニ關スル指導、研究、調査其ノ他組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル施設ヲ爲スコトヲ得

商業小組合ハ其ノ名稱中ニ商業小組合ナル文字ヲ用フベシ

第三十二條ノ三 商業小組合ノ組合員ノ總數ハ十人ヲ超エザルヲ以テ例トス

第三十二條ノ四 商業小組合ヲ設立セントスルトキハ組合員タラントスル者全員設立者ト爲リ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

商業小組合ニハ理事及監事ヲ置クベシ
理事及監事ハ總會ニ於テ之ヲ選任ス但

シ組合設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第三十二條ノ五 組合員タル資格ヲ有スル者ハ組合員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ得テ商業小組合ニ加入スルコトヲ得

第三十二條ノ六 商業小組合ハ當該商業ニ關スル商業組合ノ組合員タルコトヲ得

小商業者商業小組合ノ組合員ト爲リタルトキハ當該商業ニ關スル商業組合ノ組合員タルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情アル場合ニ於テ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

行政官廳必要アリト認ムルトキハ商業小組合ニ對シ當該商業ニ關スル商業組合ニ加入スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル命令アリタルトキハ當該商業小組合ハ當該商業組合ノ組合員トス

第三十二條ノ七 商業小組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 目的

二 名稱

三 事務所

四 組合員タル資格ニ關スル規定及組合員ノ總數

五 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

六 出資一口ノ金額及其ノ拂込入方法

七 剩餘金ノ處分及損失分擔ニ關スル規定

八 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法

九 組合員ノ權利義務ニ關スル規定

十 事業及其ノ執行ニ關スル規定

十一 役員ニ關スル規定

十二 會議ニ關スル規定

十三 會計ニ關スル規定

十四 存立ノ時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

第三十二條ノ八 商業小組合ハ出資ノ第一回ノ拂込アリタル後二週間以内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ

登記スベキ事項左ノ如シ

一 前條第一號乃至第三號、第六號及第十四號ニ掲ゲタル事項

二 出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額

三 設立認可ノ年月日

四 理事及監事ノ氏名及住所

前項ニ掲ゲタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ但シ前項第二號ニ掲ゲタル事項ニ付テハ每事業年度末日ノ現在ニ依リ事業年度終了後一月以内ニ登記ヲ爲スコトヲ得

第三十二條ノ九 商業小組合ニハ營業稅ヲ課セズ

第三十二條ノ十 第四條第二項、第十五條ノ二、第十七條第一項、第十八條、第二十五條、第二十六條第一項、第二十七條、第三十三條乃至第三十六條及第三十八條、民法第四十五條第二項第三項、第四十八條、第五十條及第六十六條、非訟事件手續法第百三十八條、第百

三十八條ノ三、第百四十一條乃至第百五十一條ノ六、第百五十四條乃至第百五十八條、第百六十五條、第百七十五條、第百七十六條及第百七十八條並ニ産業組合法第五條、第十一條第一項、第十二條、第十八條乃至第二十一條、第二十四條、第二十六條乃至第三十四條、第三十四條ノ二第一項、第三十五條、第三十六條、第三十九條乃至第四十一條、第四十三條乃至第四十六條、第四十八條、第四十八條ノ二、第五十一條乃至第五十七條、第六十條、第六十條ノ二、第六十二條（第一項第三號及第四號ヲ除ク）、第六十三條第一項、第六十五條、第六十九條乃至第七十三條ノ三、第七十四條第一項、第七十四條ノ二第一項、第七十五條、第九十六條、第九十七條及第百四條ノ規定ハ商業小組合ニ付之ヲ準用ス但シ産業組合法中地方長官又ハ監督官廳トアルハ之ヲ行政官廳トス

第三十七條但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ産業組合法中地方長官又ハ監督官廳トアルハ之ヲ行政官廳トス

第三十八條ニ左ノ一號ヲ加フ

十六 商業組合監督員ノ行フ監査ヲ拒ミタルトキ

第三十九條 第四條第二項（第三十二條及第三十二條ノ十ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム）又ハ第三項（第三十二條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上二百

三十八條ノ三、第百四十一條乃至第百五十一條ノ六、第百五十四條乃至第百五十八條、第百六十五條、第百七十五條、第百七十六條及第百七十八條並ニ産業組合法第五條、第十一條第一項、第十二條、第十八條乃至第二十一條、第二十四條、第二十六條乃至第三十四條、第三十四條ノ二第一項、第三十五條、第三十六條、第三十九條乃至第四十一條、第四十三條乃至第四十六條、第四十八條、第四十八條ノ二、第五十一條乃至第五十七條、第六十條、第六十條ノ二、第六十二條（第一項第三號及第四號ヲ除ク）、第六十三條第一項、第六十五條、第六十九條乃至第七十三條ノ三、第七十四條第一項、第七十四條ノ二第一項、第七十五條、第九十六條、第九十七條及第百四條ノ規定ハ商業小組合ニ付之ヲ準用ス但シ産業組合法中地方長官又ハ監督官廳トアルハ之ヲ行政官廳トス

圓以下ノ過料ニ處ス

第四十條 削除

第五十四條ノ二 商業組合中央會其ノ所屬ノ商業組合及商業組合聯合會ノ事業及財産ノ狀況ニ付監査ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ商業組合監査員ヲ置クベシ
商業組合監査員ノ選任及解任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

商業組合監査員ハ商業組合中央會所屬ノ商業組合及商業組合聯合會ノ事務所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨ミ、金錢、物品、帳簿其ノ他ノ物件ヲ調査シ當該商業組合及商業組合聯合會ノ事業及財産ノ狀況ヲ監査スルコトヲ得

商業組合監査員及其ノ行フ監査ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第五十四條ノ三 行政官廳ハ商業組合中央會又ハ商業組合監査員ニ對シ商業組合又ハ商業組合聯合會ノ監査上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第五十四條ノ四 商業組合監査員前條ノ命令ニ違反シタルトキハ十圓以上三百圓以下ノ過料ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
登錄稅法第十九條第七號、印紙稅法第四條第一項並ニ商工組合中央金庫法第一條第一項、第七條第一項、第二十八條第一項第六號及第二十九條第一項第三號中「商業組合聯合會」ノ下ニ「商業小組合」ヲ加フ

損害保險國營再保險特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月十九日
衆議院議長 小山 松壽
貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

損害保險國營再保險特別會計法案

第一條 損害保險國營再保險法ニ依ル損害保險國營再保險事業ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歲入ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ

第二條 本會計ニ於テハ再保險料、積立金ヨリ生ズル收入、借入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ再保險金、再保險料ノ還付金、借入金ノ償還金及利子、一時借入金ノ利子、事業取扱費、保險會社ヘノ交付金其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出トス

第三條 本會計ニ於テ決算上剩餘ヲ生ズルトキハ之ヲ積立ツベシ
本會計ノ歲計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スベシ

第四條 本會計ニ於テ再保險金及再保險料ノ還付金ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得

第五條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルベシ

第六條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足

アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ一時借入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル一時借入金ハ當該年度内ニ之ヲ返還スベシ

第七條 本會計ノ積立金ハ國債ヲ以テ保有シ又ハ大藏省預金部ニ預入レ之ヲ運用スルコトヲ得

第八條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スベシ

第九條 本會計ノ毎年度歲出豫算ニ於ケル事業費ハ支出殘額ハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第十條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ施行ス
本會計ハ當分ノ内特ニ必要アル場合ニ限リ第四條ノ規定ニ依ル借入金ニ代ヘ一般會計ヨリ受入金ヲ爲スコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ受入レタル金額ニ付テハ後日本會計ヨリ同額ヲ一般會計ニ繰入ルベシ

〔政府委員加藤錄五郎君演壇ニ登ル〕
○政府委員(加藤錄五郎君) 商業組合法中改正法律案提案ノ理由ヲ簡單ニ御説明致シマス、商業組合ノ制度ハ、昭和七年創設以來、極メテ順調ナル發達ヲ遂ゲテ參タノデアリマスルガ、支那事變勃發以來、物資ノ配給機關並ニ物價ノ統制機關トシテ、統制經濟上重要ナル地位ヲ占ムルニ至リマシタ

ノデ、一昨年ノ本議會ニ於キマシテ、組合事業ノ擴充ノ外、統制商業組合制度ヲ樹立致シマシテ、以テ右ノ事情ニ即應セシメタノデアリマスルガ、最近ノ中小商業ノ實情ハ、現行ノ商業組合制度ヲ利用スル程度ニ達シマセヌ多數ノ弱小商業者ノアリマスルコト、並ニ商業組合ノ物資統制上占ムル重要性ニ照應致シマシテ、其ノ監督取締ヲ更ニ強化スルノ要アリマスルコト等ニ鑑ミマシテ、今回本法ノ一部ヲ改正致シタイト考ヘルノデアリマス、今其ノ改正ノ主ナル點ヲ擧ゲマスレバ、第一ニ從來弱小商業者ニ取リマシテハ、商業組合制度ノ利用ハ兎角不便デアリマシタノデ、是等ノ弱小商業者ノ爲ニ、別ニ一個ノ共同經營的ナル小組合制度ヲ創設致シマシタコトデアリマス、第二ニハ、最近物資配給統制並ニ物價統制ノ進展ニ伴ヒマシテ、商業組合制度ノ公共的使命ガ極メテ増大シテ參ッタノデ、之ガ監督ノ強化ヲ圖リマス爲ニ、監督取締ニ關スル規定ヲ整備致シマシタルコトデアリマス、次ニ商業組合中央會ニ商業組合監査員ヲ設置致シマシテ、自治監督制度ヲ創設致シマシタノデアリマス、尙詳細ハ委員會等ニ於テ申上ゲルコトニ致シタイト存ジマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 木村大藏政務次官
〔政府委員木村正義君演壇ニ登ル〕
○政府委員(木村正義君) 只今議題トナリマシタル損害保險國營再保險特別會計法案提出ノ理由ヲ説明致シマス、損害保險國營

再保險法ニ依リマシテ、政府ノ經營致シマスル損害保險國營再保險事業ニ關スル歲入歲出ハ、之ヲ一般會計ト區分シテ經理スルノ適當ト認メマスル處、是ガ爲ニハ特別會計ヲ設置スルノ必要ガアリマスノデ、本法草案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正己君 只今日程ニ上リマシタ産業組合法中改正法律案外一件ハ、關聯致シマスル所ガアリマスルガ故ニ、損害保險國營再保險法案ノ特別委員ニ併託セラレムコトノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 日程第六、臨時資金調整法中改正法律案、日程第七、陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ兩案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、木村大藏政務次官

臨時資金調整法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月十九日
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

臨時資金調整法中改正法律案

臨時資金調整法中左ノ通改正ス

第十四條中「百五十倍以内」ヲ「三百倍以内」ニ定ム

第十四條ノ二 政府ハ日本勸業銀行ヲシテ收入金五億圓ニ達スル迄報國債券ヲ發行セシムルコトヲ得

報國債券ハ無記名トシ券面金額ヲ十圓以下トス

第十四條ノ三 報國債券ハ無利子トシ券面金額ヲ以テ之ヲ賣出スモノトス

第十四條ノ四 報國債券ハ發行ノ翌年ヨリ十年内ニ之ヲ償還スベシ

報國債券ニハ毎年一回以上抽籤ヲ以テ割増金ヲ附スルコトヲ得其ノ方法及金額ハ主務大臣之ヲ定ム

第十四條第三項ノ規定ハ報國債券ニ之ヲ準用ス

第十四條ノ五 報國債券ノ所有者ガ長期ニ互リ郵便官署又ハ日本勸業銀行ニ其ノ債券ノ保管ヲ委託シタル場合ニ於テハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ當該債券ニ割増金ヲ附スルコトヲ得

第十五條 復興貯蓄債券法第三條ノ規定ハ貯蓄債券ニ、同法第六條、第七條第

一項及第八條並ニ日本勸業銀行法第三十五條ノ二、第三十五條ノ三、第四十條及第四十二條ノ規定ハ貯蓄債券及報國債券ニ之ヲ準用ス
南法第二百九十六條乃至第二百九十八條ノ規定ハ貯蓄債券及報國債券ニハ之ヲ適用セズ

附則中「第十四條及第十五條」ヲ「第十四條及第十四條ノ三乃至第十五條」ニ改ム

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月十九日
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 松平賴壽殿

陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル法律案

政府ハ支那事變ニ際シ陸軍用又ハ海軍用ノ兵器又ハ造船、造兵若ハ製鐵ノ材料物品ノ製造又ハ修理ヲ營ム軍需品工場事業場ニ於テ其ノ材料物品ノ一部不足シ陸軍造兵廠、千住製鐵所、陸軍航空工廠資金又ハ海軍工廠資金ノ各特別會計ニ屬スル材料物品ヲ供給スルニ非ザレバ當該製造又ハ修理ヲ完成シ得ザル場合ニ於テ特ニ

必要アルトキハ陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ當該特別會計ノ經營ニ妨ナキ限り當該事業主ニ對シ當該特別會計ニ屬スル材料物品ヲ賣拂フコトヲ得

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員(木村正義君) 只今議題トナリマシタ臨時資金調整法中改正法律案外一件ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ヲ説明致シマス、先ヅ臨時資金調整法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、政府ニ於キマシテハ、豫テヨリ事變ノ長期化ニ伴ヒマシテ、政府資金撤布ノ激増等ガ國民經濟生活ニ及ス惡影響ヲ防止スル爲、極力國民貯蓄ノ獎勵ニ力ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、最近ノ我が國ノ經濟情勢ヲ見マスルト、從來執リ來タ方策ノミデハ、民間ニ滯留シテ居リマスル過剩購買力ヲ吸收スルニハ、必ズシモ十分デナイト考ヘラレマスルノデ、政府ト致シマシテハ、此ノ情勢ニ對應致シマシテ、此ノ際國民貯蓄ヲ一層増進セシメ、特ニ國民大衆ノ過剩購買力ヲ吸收スル一手段ト致シマシテ、茲ニ無利子デハアリマスルガ、相當多額ノ割増金ヲ附スルコトヲ得ル新種ノ債券、即チ報國債券ヲ、收入金五億圓ヲ限度トシテ、日本勸業銀行ヲシテ發行セシムルコトト致シ、併セテ從來ノ貯蓄債券ニ付キマシテモ、割増金ノ最高限度ヲ倍額迄

引上グルコトヲ得ルコト致シタイト存ジ
マシテ、茲ニ臨時資金調整法中改正法律案
ヲ提案致シ次第デアリマス、尙其ノ詳細
ニ付キマシテハ、他ノ機會ニ十分御説明申
上ゲタイト存ジマス、次ニ陸軍作業會計法
陸軍航空工廠資金特別會計法又海軍工廠資
金會計法ノ臨時條例ニ關スル法律案ニ付テ
説明致シマス、今次ノ事變ニ際シマシテ陸
海軍用兵器等ノ調達並ニ修理ノ圓滑ヲ期ス
ルコト緊要デアリマス關係上、軍需品工
場、事業場ノ事業主ニ對シマシテ、陸海軍
用ノ兵器等ノ製造又ハ修理ノ爲ニ、特ニ必
要アル場合ニ於キマシテハ、陸軍造兵廠、
千住製鐵所、陸軍航空工廠資金又ハ海軍工
廠資金ノ各特別會計ニ屬スル材料物品ヲ賣
拂フノ途ヲ拓ク必要ガアリマスルノデ、陸
軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計
法及海軍工廠資金會計法ノ臨時條例タル本
法律案ヲ提出致シマシ次第デアリマス、
何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與ヘラレムコ
トヲ希望致シマス

○副議長(侯爵佐木行忠君) 質疑ノ通告
ガゴザイマス、小山松吉君

(小山松吉君演壇ニ登ル)

○小山松吉君 只今上程ニナリマシタ臨時
資金調整法中改正法律案ノ御説明ヲ承リマ
スルト、マダ了解シナイモノガアリマスノ
デ、私ハ二點御質問ヲ申シテ見タイト思フ
ノデアリマス、私ノ御尋ハ内閣總理大臣並
ニ大藏大臣ニ對スル質疑デゴザイマスルガ、
兩大臣トモ樞密院ニ御出席デアリマシテ、
御間ニ合ハナイヤウデアリマスカラ、後

日兩大臣ヨリ御答辯ヲ得マスレバ幸デゴザ
イマス、私ノ御尋スル第一點ハ、此ノ臨時
資金調整法中改正法律案ハ、國民貯蓄ヲ増
進セシムルノデアルト云フ只今ノ御説明デ
アリマスルケレドモ是ハ却テ反對ノ效果ヲ生ズ
ルノデハナカウカ、善良ナル風俗ヲ害スル虞アル
報國債券ヲ發行スルト云フノデアリマスル
カラ、此ノ點ニ付テ御質疑ヲスル譯デアリ
マス、本法案ハ、只今御説明ノアリマシタ
通り第十四條ニ於テハ從來ノ貯蓄債券ノ割
増金百五十倍ヲ三百倍ニ致シマシテ、第十
四條ノ二ニ於テ報國債券ナルモノヲ日本勸
業銀行ヲシテ發行セシムルト云フノデアリ
マス、臨時資金調整法中ニ明文ハアリマセ
スガ、其ノ方法ト金額ハ主務大臣之ヲ定ム
トアリマシテ、政府委員ノ衆議院ニ於テノ
御説明ニ依レバ、十圓債券ヲ買受ケタ者ハ
割増金一萬圓ノ金ヲ得ルコトガ出來ルト云
フノデアリマシテ、是ハ刑法ノ理論カラ申
シマト、從來ハ富籤ト我々モ認メテ居ッタノ
デアリマス、併シ今日デハ富籤デハナク、
富籤類似ノモノト解釋シテ居ルノデアリマ
スガ、是ハ後ニ申シマスガ、大審院ガサウ
云フ判決ヲシタ爲ニ富籤類似ノモノト看做
スベキモノトナッタノデアリマス、併シ報國
債券ニ付テハ、世上ノ論者ハ富籤ナリト言ッ
テ居リマス、又富籤ノ本質及ビ各國ガ富籤
ヲ禁ジテ居ル沿革カラ申シマスレバ、是ハ
富籤ト云フノガ正解デアラウト思フノデア
リマス、從來ハ富籤ト認メタ議論ガ多カッタ
ノデアリマスガ、大正三年ニナッテ、貯蓄債
券ト同様ナモノヲ、民間デ富籤ヲ發行シタ

者ガアリマシテ、其ノ民間ノ發行シタ富籤
ニ、富籤ノ札ニ對スル金額ガ全部喪失スル
モノデナイカラシテ是ハ富籤デナイト云フ
判例ガアリマシタ、ソレデ從來ノ貯蓄債券
法ハ、大正三年以來ハ、大審院ノ判決デ
先ヅ適法ト認メラレルコトニナッタノデアリ
マス、併シ只今申シマシタ通り、沿革ヲ考
ヘテ見マスルト何處ノ立法例デモ、富籤ハ
射倖的ノモノデアラカシテ國民ノ心ヲ腐
敗セシメテ、善良ナル風俗ニ反スルカラト
云フノデ、刑法其ノ他ノ規定デ取締ヲシテ
居ルノデアリマシテ、釀出シタ金ガ自分ノ
損失ニナラナイカドウカト云フコトハ、
富籤ノ性質カラ言ヘバ餘リ重キヲ置クベキ
モノデハナイノデアリマス、僅カノ金ヲ出
シテ多額ノ金額ガ、富籤ノ結果、籤ヲ引イ
タ結果得ラレルト云フコトガ、國民ノ射倖
心ヲ煽ルカラ宜シクナイト云フコトデアリ
マスカラ、詰リ富籤ナリヤ否ヤト云フコト
ハ、出シタ金ト貰フ金ノ間ノ差額ノ如何ニ
依ッテ決ルト云フコトガ、是ガ世論デアリマ
ス、現ニ徳川時代ノ富籤ノ取締モ、色々ア
リマスガ神社佛閣ノ修理ノ名義ニ於テ富籤
ヲ許シタ時代ガアリマス、其ノ許シタ時代
ニ於テモ、札錢全部ノ支拂ヒ、札錢ノ幾分
ヲ本人ニ返ス場合ガアリ、又當リ札ノ次ノ
札カラ第何番目迄、千番迄ト云フ札錢ヲ返
スト云フ方法ガアッタノデアリマス、併シ徳
川ノ政治家ハ、爲政者ハ、富籤ノ弊害ノア
ルコトニ鑑ミマシテ、又種々ノ弊害ガアッタ
ノデアリマスカラ、遂ニ禁止トナッタノデア
リマス、デ此ノ割増金附ノ債券ノ發行セラ

レテ居ル場合ニ於テ、マア刑法ニ觸レナイ、
只今申シマシタ大審院ノ判例ニ依ッテモ刑
法ニ觸レナイト云フコトハ分ッタクデアリマ
スガ、此ノ割増金ノ附イテ居ル債券ガ、ド
ウ云フ工合ニ日本デハ是迄行ハレタカト申
シマス、煩雜ヲ避ケマシテ貯蓄債券ダケ
ノコトヲ申上ゲテ見ルノデアリマスガ、貯
蓄債券ハ元明治三十七年ニ發行セラレタノ
デアリマシテ、此ノ時ニハ五圓券利札附、
割増金ハ百倍デアリマス、其ノ後又大正十
三年ニ復興貯蓄債券ガ發行セラレテ、同様
ナ問題ニナッテ居リマス、同様ナル割増金、
是ハ利子ガ据置デアリマス、貯蓄債券ハ、
只今申シマシタ通り初メニ發行セラレタ際
ハ大分刑法ニ抵觸スルモノデハナイカト云
フ議論ガアリマシタケレドモ、其ノ當時ノ
社會情勢ヲ考ヘテ、マア弊害ハナカラウト
云フノデハ行ハレテ居ッタモノト、議會モ
サウ云フ御議論デアッタト考ヘテ居リマス、
然ルニ昭和十二年ニ臨時資金調整法ヲ、今
度改正シヨウト云フ臨時資金調整法デアリ
マスガ、調整法ガ行ハレルコトニナリマシテ
カラ、其ノ割増金ハ百五十倍トナッタノデア
リマス、券面ガ二十圓トナリマシタ、此ノ時モ
マア多少ノ議論ハアッタヤウデアリマスガ、表
面ニ現レテ居ナカッタノデアリマス、然ルニ
今度ノ案ハ貯蓄債券ヲ更ニ、十二年カラ今
迄僅カノ年限デアリマスガ、其ノ間ニ、三百
倍ニスルト云フコトニシタノデアリマス
カラ、此ノ點ニ於テモ幾分國民ノ射倖心ヲ
煽ルト云フコトハ言ヘルノデアリマス、殊
ニ今度新タニ發行シヨウト云フ報國債券ハ、

十圓デ一萬圓取レルト云フノデアリマス、是ハ非常ナ利益ガアルノデアリマス、世間ノ噂デハ、マア新聞紙上デモ色々議論ガアルヤウデアリマスガ、從來蝦デ鯛釣ルト云フコトヲ言ッテ居ルガ、是ハ蝦デ鯛釣レルノダト云フヤウナコトヲ言ッテ、頻リニ噂シテ居ルサウデアリマス、マア今日カラ待構ヘテ居ル者ガアルノデアリマスカラ、「ブローカー」ノ活躍、其ノ他「プレミアム」付デ賣ルト云フヤウナ、色々弊害ガ生ズルト云フコトハ疑ナイノデアリマス、是モ社會情勢ガ健全ナル國民思想ノ狀態デアルト云フ場合ナラバ、我慢ヲシテモ宜シイノデアリマスケレドモ、今ヤ國民ノ一部及ビ勞働者又ハ青年ノ一部ニハ、實實剛健ノ氣風ガナクナッテ居ルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、花柳界、觀覽場、演劇其ノ他ノ映畫場モ非常ナ盛況デ、兎ニ角入場券ヲ買フノ何時間モ表ニ立ッテ待ッテ居ルト云フ有様デアリマスガ、斯ウ云フ狀態デアリマスノミナラズ、毎月一日ノ興亞記念日ナドデモ、東京ハ靜カデアリマスガ、地方ヘ出掛ケテ行ッテ盛ニ遊興シテ居ル者モアルト云フコトデアリマス、非常時ニ於テハ國民ハ勤儉力行、堅忍持久、銃後ノ護ヲ完ウシナケレバナラスコトハ申ス迄モナイノデアリマスガ、國民ノ一部ニ右ノヤウナ狀況ガ見エマスル以上ハ、餘程考ヘナケレバナラスコトデアラウト思フ、戰地ノ第一線ヨリ歸リマシタ者ナドニ、東京、大阪等ノ浮華輕佻ノ風ヲ見マシテ、非常ニ憤慨シテ居ル者モアルト聞イデ居リマス、此ノ時此

ノ際十圓ノ債券ヲ買ヘバ一萬圓ノ金ガ取レルト云フコトニナリマシテ、射倖心ヲ煽ルト云フコトデアリマスレバ、只今申シマシタヤウナ國民ハ、喜ンデ之ニ飛び付クデアラウト思フノデアリマス、加之、モウ少し申上ゲマス、現今競馬ニ於テモ弊ガ大部現レテ參リマシタ、是ハ豫算委員會デ某子爵ガ其ノ事ハ御尋ネニナッテ居ルヤウデアリマスガ、私ハマア餘リ競馬場ヲ視キマセスカラ場内ノコトハ能ク知リマセスガ、旅行ナドヲシタ時ニ競馬場ノ附近ヲ汽車デ通リマス、競馬ノ濟ンダ時ニ乗ッテ來ル乘客、競馬ニ勝ツタト云フ酒ヲ呷ッテ居ルヤウデアリマス、負けダ者モ酒ヲ呷ッテ、汽車内ニ於テ醜態ヲ演ジテ居ル者ガアルヤウデアリマス、一方ニ於テハ、青年其ノ他ハ麻雀ニ耽ッテ居ル、警察官憲ハ麻雀ノ取締ヲ餘程嚴重ニシテ居リマスガ、矢張り薩ノ方デハヤッテ居ルノデアリマス、此ノ法案ハ、サウ云フ一部ノ浮華輕佻ノ風ノアル國民ニ油ヲ掛ケルヤウナモノデアアル、寧ロ射倖心ヲ獎勵スルト云フ結果ニナリハシナイカト思フノデアリマス、即チ善良ノ風俗ニ反スルコト甚ダシイモノデアルト考ヘルノデアリマス、少し餘談ノヤウデアリマスガ、嘗テ明治三十九年カラ四十年頃ノ間ニ、日本内地デ臺灣ノ彩票ガ大部賣レタコトガアルノデアリマス、其ノ時ナドモ、事件ニ關係シタ私ハ色々取調ベテ見マシタガ、彩票ヲ買ッテ居ッテ、モウ其ノ當リ籤ノ當籤ノ日デアルト云フト、神様ニ行ッテ參詣スル、佛様ニ御禱リスル、占ヒヲシテ貰フト云フ非常

ニ夢中ニナルヤウデアリマス、現ニ「マニラ」ノ富籤デ神戸ノ人ガ一萬圓當ッテ居ル、一萬圓當ッテ非常ニ豪奢ナ生活ヲシテ居ッタノデアリマス、ソレハ私ガ神戸ニ在勤當時ノコトデアリマシテ、色々ノコトヲ聞イテ居ル、其ノ結果一萬圓ノ「マニラ」ノ富籤ガアツタト云フコトヲ聞イテ、大阪、神戸デハ頻リニ此ノ「マニラ」ノ富籤ヲ或方法ヲ以テ買フコトガ流行ッタノデアリマス、國民ヲシテ射倖心ヲ増長セシムルコトハ、其ノ生業ヲ怠リ、一攫千金、寧ロ今度ハ一攫萬金デアリマスガ、一攫萬金ヲ期待スル結果トシテハ、國民ノ勤勉心ヲ失ハシメルコトハ、是ハモウ疑ヒハナイノデアリマス、從來ノ歴史ハ明カニ之ヲ物語ッテ居リマス、知ラズ識ラズ奢侈ニ流レマシテ、債券ヲ買フノ無理ヲシテデモ買フ、五枚デモ三枚デモ、當ルト云フコトニナリマス、借金ヲシテデモ買フ者ガアリマスカラ、ソレガウマク行カナケレバ自暴自棄ニ陥ルト云フコトモアルコトデアリマス、結局勤儉ノ美風ハ地ヲ掃ッテ、無クナルヤウニナリハシナイカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、デ私ハ財界ノコトハ能ク分リマセスガ、從來ノ貯蓄債券ヲ増割金三百倍ニシタノデアリマスカラ、ソレデ何トカ方法ガ付クノデハナイカト思フノデアリマス、然ルニ尙一萬圓、所謂一千倍ニナリマスガ、一千倍ノ弊害多キ富籤類似ノ報國債券ヲ、種々弊害ノアルコトヲ御承知ニナリナガラ、國民ノ今日ノ情勢ハ、既ニ政府モ御承知デアラウト思ヒマスガ、御承知デアリナガラ、之ヲ是非發行シ

ナケレバナラスコト云フ理由ヲ承リタイノデアリマス、只今政務次官ノ御説明デハ、私ノ疑ハ氷解スルニ至ラナイノデアリマス、第二點ハ、從來ノ内閣ガ執ッテ居マシタ國民ヲシテ實實剛健ノ氣風ヲ養成セシメルト云フ、國民精神作興ノ御詔書等ニ依ル方針ト違フコトガアリハシナイカ、報國債券ヲ許スト云フコトハ、サウ云フ點ニ於テモ考ヘナケレバナラスノデヤナイカト云フコトヲ御尋ネスルノデアリマス、今更申ス迄モナイコトデアリマスガ、一國ノ政ヲ爲スモノハ、常ニ國民思想ノ動向ニ注意スベキコトハ言フヲ待タナイノデアリマス、我が國民ハ、東洋ニ在ッテハ、古來賭博又ハ富籤ノ如キ射倖的行爲ニ耽ルコトハハカッタノデアリ、是ハ我が國民ノ誇リデアリマス、支那ニ行ッテ御覽ナサイ、支那ニオイデニナリマスレバ分リマスガ、モウ賭博、何デモ富籤ノヤウナコトヲヤッテ、小サイチヨットシタ事ヲヤルニモヤッテ居ル、最モ射倖心ノ旺盛ナ國民デアリマス、我が國デハ國民ノ大部分ガ實實剛健ノ氣風、精神ト云フモノヲ保持シテ居リマシタガ爲ニコソ、時ニ國民思想ニ付テハ盛衰ガアリマシタケレドモ、一旦緩急アレバ何時デモ起ッテ義勇奉公ノ心ヲ振ヒ起スコトガ出來ルノデアリマス、詰リ斯クノ如キヲ得マシタノハ、徳川時代ニ於ケル政治家、幾多ノ名老中ガ、國民ノ射倖心ヲ戒メテ賭博ヲ禁ジ、富籤ニ對シテモ元祿以來屢、法令ヲ出シテ居リマス、徳川時代ノ財政ハ窮乏ノ時モアリマシタ、財政窮乏ノ際ニモ成ルベク富籤ノ發行ハシナ

カッタノデアリマス、神社、寺等ノ修理ニ付テ幕府ガ出スコトガ出来ナイヤウナ金ハ、或場所ヲ限ッテ富籤ヲ、嚴重ニ取締ッテサシタヤウナ譯デアリマシテ、是モ種々ノ弊害ニ堪ヘナイカラ、富籤ト云フモノガ財政上有利ナコトハ知ッテ居リマシタガ、幕府ハ遂ニ禁止シテシマヒマシタ、天保以後ハモウ全ク嚴禁デアリマス、徳川幕府ノ方針ノミナラズ、各大名諸侯方ノ領分内ノ政治ヲ見マシテモ、矢張り幕府ノ方針ト同ジヤウニ、射倅心ヲ煽ルヤウナコトハ絶對ニ禁止シテ居ッタデアリマス、右ノヤウナ有爲ノ政治家或ハ諸大名ノ御努力ニ依ッテ、日本ハ賭博國デナク、富籤國デナイコトニ今日迄ナッテ來タ、明治迄ナッテ來タノデアリマス、然ルニ明治時代ニナリマシテカラ、新律綱領、改定律例ノ時ニ、賭博ノ規定ハアリマシタケレドモ富籤ハナカッタ、デ富籤ガ矢張り流行リ出シマシタノデ、舊刑法ノ條文デハソレガ不十分デアリマスノデ、明治十五年ニ太政官布告ノ第二十五號ニ依ッテ富籤ノ取締ヲシタデアリマス、サウ云フ風デ、日本デハ從來富籤ハ嚴禁ト云フコトニナッテ居リマスガ、交通ガ開ケマス、先刻申上ゲマシタヤウニ「マニラ」ノ富籤ガ大分大阪、神戸ヘ、東京ヘモ少シ來タヤウデアリマス、ソレデ色々苦心ヲシマシテ遂ニ「マニラ」ノ富籤モ先ヅ之ヲ禁止スルコトガ出來タ、明治三十九年ノ律令ニ依リマシテ臺灣ニ彩票局ガ出來マシテ、臺灣デ富籤ヲ發行スルコトニナッタデアリマス、臺灣ノ富籤ハ内地ニ決シテ賣ラナイト云フ條件

ノ下ニ發行シタデアリマスガ、是ハ容易ニ行ハレルモノデナイデアリマスカラ、内地ヘドンドン「富籤、彩票ガ入ッテ參リマシタ、而モ其ノ入ッテ來タノガ餘リニ不思議デアリマスカラ、非常ニ多ク入ッテ參リマシタカラ、取調ヲシテ見タデアリマス、實ニ驚イタコトガアリマシタ、日本ノ有力ナル財閥ノ人々、實業家ガ數名デ、此ノ富籤ノ内地密賣ノ計畫ヲシマシテ、ソレヲ實行シテ居ッタデアリマス、サウ云フコトガ分リマシタカラ、遂ニ檢舉ニ著手シマシテ豫審ヲ求メタデアリマスガ、サウスルト臺灣總督ハ、臺灣ノ彩票ハ止メル、止メテシマフカラ處分ヲ緩和シテ呉レト云フヤウナマア要求ガアリマシテ、其ノ他色々事情ガアッテ此ノ事件ハ無事ニ済ンダデアリマス、臺灣ノ彩票ト云フモノガ、一旦彩票局迄出來テ、彩票ガ今日アリマセヌノハ、此ノ時ニ禁止シタ結果デアリマス、民間ニ富籤類似ノ行為ガ随分アルデアリマス、各警察、裁判所デ處分ニナル者ガ往々アリマス、現ニ年末ノ福引、或ハ賣出等ニ付テ富籤類似ノ方法ヲ用ヒマス、警察ガ非常ニヤカマシイ、是ハ明治三十三年以來内務省令……一度改正シテ居リマスガ、内務省令ニ依ッテ取締テ居ルノデアル、僅カ五十錢ノ物ヲ買ッテ、三圓トカ五圓ト云フモノヲ出シテモ、ソレハ警察デヤカマシク言ハレルノデアリマス、處ガ政府ガ之ヲヤルトナレバ、十圓ノ債券ニ對シテ一萬圓ヲ渡シテモ宜イト云フコトニナリマス、近頃流行シマス官僚獨善ト云フコトノ最モ甚ダシイモ

ノダト云フヤウニ、評スル者モアラウト思フデアリマス、元來政府ハ何時デモ勤儉力行ヲ唱ヘテ居ラナケレバナラスノデアリマシテ、サウシマセヌケレバ、國民ノ風俗ガ不良ノ方ニ向クト云フコトハ、是ハ疑ヒナイノデアリマスガ、現ニ此ノ政府モ勤儉力行ハ唱ヘテ居リマス、國民精神總動員ニ依ッテ、又其ノ他色々方法デ貯蓄ヲ御獎勵ニナッテ居リマスガ、報國債券ヲ發行シテ、十圓デ一萬圓ノ割増金ヲ取レルト云フコトニシマスノハ、是ハ貯蓄ヲ獎勵シ、勤儉力行ヲ御獎勵ニナル方針ト矛盾シテ居ル、斯ウ云フコトデアリマス、各種ノ教化團體ガ日夜苦心シテ國民精神作興ニ努メテ居リマシテモ、ソレハ脇ノ方カラ崩レテ行ク結果ニナルダラウト思フデアリマス、國民精神作興ノ趣旨ハ、報國債券ノ發行ニ依ッテ其ノ效力ヲ薄クスル虞ガアルト思フノデアリマス、モウ一ツ私ガ申上ゲタイノハ、本年ハ時モ時、紀元二千六百年ヲ奉祝致シマシテ、國民精神ヲ眞ニ作興シ、實質剛健ノ氣風ヲ養成スベキ秋デアリマス、此ノ紀元二千六百年ニ當ッテ、報國債券、十圓金ヲ出セバ一萬圓取レルト云フヤウナ、非常ナ巨額ナ利益ヲ獲得スルヤウナコトヲ御計畫ニナルノハ、是ハドウデアラウカト云フコトヲ竊カニ憂ヘルデアリマス、マア色々トハ申シマセヌガ、從來政府ノ外部ニ伺ッテ頻リニ御話ニナッテ居ル言葉、各大臣ナドノ御話ニナッテ居ル言葉ニ依ッテモ、此ノ際戊申詔書ノ御趣旨ヲ奉ジテ政治ヲアルト云ッテ居ルデアリマスガ、明治四十一年

漢發ノ戊申詔書ハ、臺灣ノ富籤、競馬ノ馬券、アア云フコトニ依ッテ國民思想ガ浮華輕佻ニ流レタノヲ御戒メニナル爲ノ御詔書デアルト拜察シテ居ルデアリマス、此ノ御詔書ノ御趣旨ナリ、昨年五月、青少年學徒ニ賜リタル御詔書ノ御趣旨ヲ克ク體シテ見マスルト、ドウモ富籤類似ノ詰リ報國債券ト云フモノハ、發行スルコトニ躊躇シナケレバナラナイノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ二點ヲ御質問致シタ譯デアリマス、只今御答辯ハ、先刻申シマシタ通り求メマセヌカラ、他日内閣總理大臣及大藏大臣ノ御答辯ガアレバ幸デゴザイマス

〔國務大臣櫻內幸雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(櫻內幸雄君) 只今、報國債券ノ問題ニ付キマシテ小山サンカラ御質疑ガアリマシタガ、前半ハ已ムヲ得ザル差支ノ爲ニ私聽キ落シマシタノデ、大體政府委員ガ聽キマシタコトヲ「メモ」ニ依ッテ承知致シテ御答ヘ致シタイト思ヒマス、後半ハ拜聽致シテ居リマシタノデ、併セテ御答ヲ致シタイト思ヒマス、今回報國債券ヲ發行致スコトニ相成リマシタコトニ付キマシテ、此ノ報國債券ノ割増金ガ巨額ニ達シテ居ルノ故ヲ以テ、是ガ富籤類似ナリト云フ風ナ考ヲ持タル、方モアルヤウニ存ズルノデアリマス、又殆ド報國債券ヲ以テ富籤デハナイカト云フ風ナ考ヲ持タル、方モアルヤウデゴザイマス、私ハ先ヅ第一ニ報國債券ハ富籤デナイト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

〔議長伯爵松平賴壽君議長席ニ著ク〕

富籤ハ御承知ノ通り、簡單ニ申シマスルト云フト、總テ賭ケタ金ガ大部分ハ政府ノ所有ニナルカ、若シクハ富籤ノ發行者ノ所有ニナリマシテ、他ノ部分ヲ全部之ヲ買ツタ人ニ割當テルト云フヤウニナツテル居ノデアリマス、而シテ巨額ノ富籤ガ出來ル結果ト致シマシテ、其ノ大部分ノ者ハ元金ヲ無クシテシマフノデアリマス、報國債券ハ成ル程利息ガ付イテ居リマセヌ、併シナガラ元金ハ確力ニ殘ルノデアリマシテ、其ノ點ニ於テ少シク富籤ト違フト云フコトノ性質ノアルコトハ、明カニ御會得下サルコトト存ズルノデアリマス、唯要點ハ、割増金ト云フモノヲ以テ國民ノ興味心ヲ唆ル、今小山サンノ御言葉ヲ藉リテ申スナラバ射倖心ト斯ウ云フコトデアリマス、是ハ平生ノ時代ニ於テハ、斯様ナル國民ノ興味ヲ唆ツテ、其ノ興味ニ依ツテ貯蓄ヲサセルト云フ事柄ハ慎ム方ガ宜イト思ヒマス、申ス迄モナイ日本ノ國民性カラ申シマシテモ、ドノ方面カラ考ヘテ見マシテモ、勤儉力行、勤儉貯蓄、是ガ一番宜シイノデアリマス、今日國民精神總動員ノ運動ニ依ツテ貯蓄獎勵ヲ鼓吹シテ戴イテ居リマス、又全國的ニ貯蓄獎勵運動ヲ大規模ニ行ヒマシテ、サウシテ少シデモ多クノ貯金ヲ得ルヤウナ運動ヲ致シテ居リマス、之ニ對シテ國民各位ガ協力サレテ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルコトハ事實デアリマス、若シ是ダケノ運動デ十分ナル效果ヲ擧ゲ得ルト致シマシタナラバ、是ハ私斯様ナル債券ハ出サヌノガ宜イト思ヒマス、併シ

ナガラ今日ノ實際ハドウデアルカ、足一度銀座街頭ニ參ッテ見マス、私共ハ實ニ感慨無量ナモノガアリマス、又盛リ場ト云フ盛リ場ハ殆ド滿員ノ状態デアリマス、一面ニ我等ノ兄弟ガ第一線ニ立ッテ、身ヲ獻ゲテ奮闘奮戰ヲ致シテ居ル際ニ於テ、斯様ナル事柄ガ私ハアツテハ相濟マスト考ヘマス、從ヒマシテ、此ノ點ニ付キマシテ國民精神總動員ノ運動ヲ更ニ徹底シテ、此ノ氣風ヲ一掃スルト云フ事柄ハ、是ハ全力ヲ盡シテ致サナケレバナラヌト思ヒマスガ、併シナガラ俗ノ言葉ヲ以テ申セバ、佛教ニ於テモ方便ト云フコトガアリマス、即チ國民ノ興味心、此ノ興味心ト云フモノヲ利用致シマシテ、サウシテ所謂斯様ナル所ノ、散財ヲスル所ノ金ヲ吸收スルノ途ヲ講ズルコトモ亦一ツノ方法デアルト思ヒマス、今日聖戰ノ目的達成ノ上ニ於テ何ガ一番大事デアルカト申シマス、申ス迄モナク所謂軍費ノ支辨ノ源泉デアル所ノ公債消化、此ノ公債消化ニハ、零細ナル資金ヲモ取纏メテ之ヲ資金化スルコトガ必要デアリマス、又聖戰目的達成ノ爲ニハ、ドウシテモ物價ノ暴騰ヲ招イテハナリマセヌ、物價ノ暴騰ヲ防グノニハ、所謂購買力ト云フモノヲ少クシテ、サウシテ消費ノ節約ヲ致スト云フコトガ行ハレナケレバナリマセヌト同時ニ、總テノ人ガソレ等ノ費用ヲ全部貯蓄ノ方ニ持ッテ行クト云フコトガ必要デアリマス、故ニ一面ニ於テ國民精神總動員其ノ他ノ運動ニ依ツテ零細ナル所ノ資金ヲ吸收致スト同時ニ、又一面多少色々ナ議論ガアリ

マシテモ、(斯様ナル所ノ方法ニ依リマシテ資金ヲ吸收スルト云フ事柄モ、亦考ヘナケレバナラヌ點デアリマス、富籤デゴザイマスト云フト、一萬圓當リタイ、此ノ一萬圓ノ金ヲ僥倖スルガ爲ニ、其ノ債券ヲ一枚買ヒ二枚買ヒ、借金ヲシテデモドン／＼買ヒ出スト夢中ニナツテソレヲ買フ、買フコトハ宜シイガ遂ニ其ノ爲ニ借金ヲシテ身動キガ出來ナクナツテ、自暴自棄ニ陥ル處ガアリマス、併シナガラ此ノ債券ハ、債券ヲ買ッテサウシテ持ッテ居リマスルナラバ、是ハ少シモ資産ハ減ラナイノデアアル、唯其ノ利息ダケヲ國ノ爲ニ、報國觀念ノ下ニ於テ、利息ダケヲ寄附スルト云フ結果ニナルニ過ギナイノデアリマス、殊ニ今回ノ方法ニ於キマシテ、之ヲ郵便局ナリ其ノ他ニ預ケマシテ、五箇年内外ノ年限ヲ預ケマスと云フト、ソレニ對シテ約五パーセントノ内外ノ割増金ヲ付ケテ獎勵致スノデアリマスガ故ニ、之ニ對シテ利子ガ付クト同ジ結果ニナルノデアリマス、此ノ報國債券ガ善良ナル風俗ヲ害シハシナイカト云フコトニ付キマシテハ、私ハ深く考慮致シタノデアリマス、今日ハ、小山サンノ意見トハ反對ニ寧ロ富籤デモ發行シテ、サウシテ股販産業其ノ他ニ依ツテ撒布セラレタ資金ヲ吸收スベシト云フ議論モアリマスケレドモ、私ハ此ノ點ニ付テハ、ドウシテモ小山サント同ジ意見ニ於テ同意シ兼ネルノデアリマシテ、之ヲ採用致サナカッタノデアリマス、此ノ債券ガ發行サレテ、サウシテ次第々々ニ之ヲ買集メテ纏メマス結果ト致シマシテ、適當ナル時

機ニ是ガ相當ノ金額ニナリマスナラバ、ソレ等ノ人々ガ之ヲ自分ノ資金化スル、極ク昔ノ俗ノ言葉デ申シマス、牛ニ牽カレテ善光寺詣リト云フ言葉ガアリマスガ、左様ナル結果ヲ私ハ招來スルト思ヒマス、殊ニ斯様ナル債券ハ、從來ニ於テモ御承知ノ通り勸業債券、貯蓄債券等ガ發行サレマシテ、稍、似寄ッテル居ノデアリマス、勸業債券ニ於キマシテハ嘗テハ五千圓ト云フ割増金ヲ附ケタコトガアリマス、三千圓ト云フ割増金ヲ附ケタコトモアリマス、貯蓄債券ニ於テモ千五百圓、斯ウ云フ風ナ獎勵金ヲ附ケタコトガアリマス、幾分カ此ノ興味心ト云フモノヲ唆ル感ハアルカモ知レマセヌケレドモ、今日貯蓄債券、勸業債券等ガ、大ナル國民ノ頭ニ非常ナ惡影響ヲ及シテ居ルト云フ風ニハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、私ハ今日ノ際ニ於テ何トカシテ、此ノ股販産業ニ依ツテ懷中ニ金ヲ儲ケタ人ガ、無駄ニ使ハズシテ、サウシテ是ガ國家ノ用ヲ爲スヤウナ風ニ持ッテ行クノニハ、多少ハ斯様ナル方法ニ依ルコトモ亦已ムヲ得ナイノデアリマス、ナカラウカト斯様ニ考ヘタノデアリマス、若シ今日ノ如キ情勢デ參リマシテ、サウシテ所謂金ガ浪費サレル、斯ウ云フコトニ相成リマシタナラバ、ソレハ私ハ寧ロ國家トシテ非常ナル不幸ナ結果ニ陥リハシナイカト云フコトヲ惧レルノデアリマス、今凱旋サレタル軍隊ノ諸君其ノ他ガ、所謂是等ノ遊興場裡ニオイデニナツタ時ニドウ云フ感じヲ持タレルカ、私ハソレハ一種ノ言フベカラザル感慨ニ打タレラレルト思フ

ノデアリマス、是等ノ人々ノ斯様ナル方面ニ浪費セラレル所ノ資金ヲ、何等カノ方法ニ依ッテ吸收スルト云フ事柄ハ、私ハ決シテ是ガ惡イコトトハ考ヘテ居リマセヌ、即チ玆ニ是等ノ方法ニ依ッテ貯蓄スルト云フコトノ觀念ガ出來マスレバ、其ノ觀念ガ、最初ハ或ハ此ノ割増金ト云フコトヲ目安ニシテ之ヲ買フ人ガアルカモ知レマセヌケレドモ、次第々々ニ是ガ貯蓄ト云フ觀念ニ移ッテ來ルノデアリマス、斯様ナル方法ヲ致スコトモ、私ハ決シテ御話ノヤウナ風ナ結果ニハナラスト思フノデアリマス、臺灣ノ彩票、或ハ徳川時代ノ御話モ承リマシタガ、是ハ純然タル富籤デアリマシテ、報國債券トハ自ラ性質ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマス、報國債券ニ對シマシテ議論ノアリマスコトハ、割増金ガ非常ニ多イト云フコトデアリマスケレドモ、是モ私ハ今日ト致シマシテハ一ツノ所謂方便トシテ致スコトガ適當デアル、斯様ニ考ヘタヤウナ譯デアリマシテ、此ノ問題ニ依リマシテ、非常ニ勤儉力行ニ對シテ、非常ナ逆作用ヲ起ス、ソコ迄ハ此ノ債券ガ惡結果ヲ及スヤウナ風ニハ、私ハ考ヘテ居ナイノデアリマス、即チ貯蓄債券、勸業債券等ノ例ニ付テ御考ヲ願フテ、サウシテ今日ノ時局、又現在ノ實情、斯ウ云フコトヲ特ニ御考慮下サイマシテ、此ノ問題ニ付キマシテハ富籤ノ如キ惡作用ヲ起サナイ、斯ウ云フ風ニドウカ御諒解ヲ願ヒタイ、斯ウ思フノデアリマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 小山君ニチヨット伺ヒマスガ、總理大臣ニ對シテモ御答フ御求メニナリマスノゴザイマスカ

○小山松吉君 總理大臣ニ對シテモ御答辯ヲ求メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) モウ少シ大キナ御聲デ……

○小山松吉君 總理大臣ノ御答辯モ御願ヒ致シタイノデアリマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 總理大臣ハ只今御出席ガゴザイマセヌデ居リマスカラ、後日ノ機會ニ願ヒタイト存ジマス

○小山松吉君 ソレデ宜シウゴザイマス

○子爵戸澤正己君 只今日程ニ上リマシタ臨時資金調整法中改正法律案外一件ハ、關聯致シマス所ガアリマスルガ故ニ、昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外十五件ノ特別委員ニ併託セラレムコトノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第八、日本肥料株式會社法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、島田農林大臣

日本肥料株式會社法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十五年三月十九日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(小字ハ衆議院ノ修正)

日本肥料株式會社法案

日本肥料株式會社法

第一條 日本肥料株式會社ハ肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事業ヲ營ムコトヲ目的トスル株式會社トス

第二條 日本肥料株式會社ノ資本ハ五千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得

第三條 日本肥料株式會社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國人又ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限り之ヲ所有スルコトヲ得

勅令ノ定ムル法人ニシテ特ニ政府ノ許可ヲ受ケタルモノハ前項ノ規定ニ拘ラズ日本肥料株式會社ノ株主ト爲ルコトヲ得

第四條 政府ハ二千五百萬圓ヲ限り日本肥料株式會社ニ出資スベシ

政府所有ノ株式ノ株金拂込ハ其ノ他ノ株式ノ株金拂込ト之ヲ異ニスルコトヲ得

第五條 日本肥料株式會社ニ非ザルモノハ日本肥料株式會社又ハ之ニ類似ノ名稱ヲ以テ其ノ商號ト爲スコトヲ得ズ

第六條 日本肥料株式會社ニ役員トシテ理事長副理事長各一人、理事五人以上及監事三人以上ヲ置ク

理事長ハ日本肥料株式會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副理事長ハ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

副理事長及理事ハ理事長ヲ輔佐シ定款ノ定ムル所ニ依リ日本肥料株式會社ノ業務ヲ分掌シ又ハ之ニ參與ス

監事ハ日本肥料株式會社ノ業務ヲ監査ス

第七條 理事長及副理事長ハ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ株主總會ニ於テ選舉シタル候補者中ヨリ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ三年トス

肥料業ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ其ノ職ヲ退キタル後五年間日本肥料株式會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ズ但シ主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 理事長、副理事長及業務ヲ分掌スル理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 日本肥料株式會社ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

一 肥料ノ買入及販賣

二 肥料ノ輸出、輸入、移出及移入

三 肥料ノ製造、肥料製造事業ニ對スル投資其ノ他肥料ノ供給確保上必要ナル事業

四 其ノ他肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事業

前項ノ肥料ハ硫酸アンモニア、石灰窒素、過燐酸石灰、カリ塩及命令ヲ以テ定ムル其ノ他ノ肥料トス

第一項第三號又ハ第四號ニ掲グル事業ヲ營マントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第十條 日本肥料株式會社ハ前條ノ肥料以外ノ肥料ノ配給統制事業ヲ行フ株式會社ニ對シ政府ノ認可ヲ受ケ投資スルコトヲ得

第十一條 政府第九條ノ肥料ノ供給確保上必要アリト認ムルトキハ日本肥料株式會社ニ對シ肥料ノ製造業者ト協議ノ上其ノ製造工場ノ經營ノ管理ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十二條 日本肥料株式會社ハ拂込ミタル株金額ノ五倍ヲ限リ肥料債券ヲ發行スルコトヲ得肥料債券ヲ發行スル場合ニ於テハ商法第三百四十三條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ

第十三條 肥料債券ヲ發行セントスル場合ニ於テハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第十四條 政府ハ肥料債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付保證スルコトヲ得

第十五條 肥料債券ハ無記名式トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名式ト爲スコトヲ得

第十六條 肥料債券ノ所有者ハ日本肥料株式會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先テ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

第十七條 日本肥料株式會社ハ每營業年度ニ準備金トシテ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益金額ノ百分ノ八以上ヲ積立ツベシ

第十八條 日本肥料株式會社ハ拂込ミタル株金額ニ對シ勅令ヲ以テ定ムル割合ヲ超エテ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ズ

第十九條 日本肥料株式會社ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ニ達スル迄政府ノ所有スル株式ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セズ

日本肥料株式會社ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超エ利益配當ヲ爲サントスルトキハ其ノ超過スル利益金額ハ利益配當ガ總株式ニ付拂込ミタル株金額ニ對シ均一ノ割合ニ達スル迄政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額及政府ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ一ト三トノ割合ヲ以テ之ヲ配當スベシ

第二十條 政府ハ日本肥料株式會社ノ業

務ヲ監督ス

第二十一條 日本肥料株式會社借入金ヲ爲サントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第二十二條 日本肥料株式會社ノ定款ノ變更、利益金ノ處分、合併及解散ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十三條 日本肥料株式會社ハ每營業年度ノ事業計畫ヲ定メ政府ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第二十四條 日本肥料株式會社ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外政府ノ認可ヲ受ケタル價格ニ依リニ非ザレバ第九條ノ肥料ノ買入、販賣、輸出、輸入、移出又ハ移入ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十五條 政府必要アリト認ムルトキハ日本肥料株式會社ニ對シ第九條ノ肥料ノ配給統制上又ハ供給確保上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ズルコトヲ得

政府ハ日本肥料株式會社ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、檢査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 政府ハ日本肥料株式會社監理官ヲ置キ日本肥料株式會社ノ業務ヲ監視セシム

日本肥料株式會社監理官ハ何時ニテモ日本肥料株式會社ノ帳簿書類、金庫其ノ他ノ物件ヲ檢査スルコトヲ得

日本肥料株式會社監理官必要ト認ムル

トキハ何時ニテモ日本肥料株式會社ニ命ジ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

日本肥料株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第二十七條 政府日本肥料株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 重要肥料業統制法第十條第一項ノ規定ハ日本肥料株式會社ニ付テハ之ヲ適用セズ

第二十九條 日本肥料株式會社ハ第九條ノ肥料ノ價格ノ調整ヲ圖ル爲命令ノ定ムル所ニ依リ價格平衡資金ヲ設定スベシ

前項ノ規定ニ依リ價格平衡資金ニ繰入レタル金額ハ法人稅法ニ依ル所得、營業稅法ニ依ル純益及臨時利得稅法ニ依ル利益ノ計算上之ヲ損金ニ算入ス

第三十條 第九條ノ肥料ニシテ主務大臣ノ指定スルモノノ製造業者及其ノ肥料ノ取扱ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ製造又ハ取扱ニ係ル肥料ヲ日本肥料株式會社ニ賣渡スベシ

前項ノ肥料ノ取扱ヲ爲ス者ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

政府ハ第一項ニ掲グル者ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ

又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 第二十五條第一項ノ規定ニ依ル命令又ハ第二十四條若ハ前條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條 第三十條第三項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條 第三十條第三項ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者亦前項ニ同ジ

第三十四條 法人又ハ人ノ代理人、戶主家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第三十一條又ハ前條第一項ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ法人又ハ人ハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルコトヲ得ズ

第三十五條 日本肥料株式會社左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ理事長又ハ理事長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副理事長又ハ理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ副理事長

又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同ジ
一 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ認可ヲ受ケベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二 第九條第一項ノ規定ニ依ラズシテ業務ヲ營ミタルトキ
三 第十二條第一項ノ規定ニ違反シ肥料債券ヲ發行シタルトキ

四 第二十五條第二項ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ
日本肥料株式會社ノ理事長、副理事長又ハ理事第八條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ過料ニ處ス

第三十六條 第五條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

附則
第三十七條 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十八條 日本硫酸株式會社及臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依リ過磷酸石灰ノ配給統制上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ゼラレタル株式會社(磷酸肥料配給株式會社)ハ命令ノ定ムル所ニ依リ商法第三百四十三條ニ定ムル株主總會ノ決議ヲ以テ日本肥料株式會社ト爲ルコトヲ得

日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社前項ノ決議ヲ爲シタルトキハ政府ノ認可ヲ受ケベシ

第三十九條 前條ノ認可ヲ爲シタルトキハ政府ハ設立委員ヲ命ジ日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ヲ日本肥料株式會社ト爲ス爲ニ必要ナル事務ヲ處理セシム

前項ノ設立委員ノ中少クモ二人ハ日本硫酸株式會社ノ取締役中ヨリ、少クモ二人ハ磷酸肥料配給株式會社ノ取締役中ヨリ之ヲ命ズルコトヲ要ス

設立委員ノ任命アリタル後ハ日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ取締役ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ會社ノ常務ニ屬セザル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十條 設立委員ハ定款ヲ作成シ政府ノ認可ヲ受ケベシ

第四十一條 前條ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ總株式ヨリ日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ株式ニ引當テラルベキ株式並ニ政府ニ割當ツベキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集スベシ

第四十二條 株式申込證ニハ商法第百七十五條第二項第二號及第四號乃至第七號ニ規定スル事項ノ外定款認可ノ年月日ヲ記載スベシ

第四十三條 設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ政府ニ提出シ其ノ検査ヲ受ケベシ

第四十四條 設立委員ハ前條ノ検査ヲ受ケタル後遲滞ナク各新株ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

第四十五條 前條ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク創立總會ヲ招集スベシ

第四十六條 創立總會ニ於テハ第七條ノ規定ニ準ジ理事ノ候補者ノ選舉及監事ノ選任ヲ行フベシ

第四十七條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ日本肥料株式會社理事長ニ引渡スベシ

第四十八條 日本肥料株式會社ノ成立ニ因リ日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ハ之ニ吸收セララルモノトシ日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ權利義務ハ日本肥料株式會社ニ於テ之ヲ承繼ス

第四十九條 前條ノ規定ニ依リ日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ガ日本肥料株式會社ト爲リタルトキハ法人税法、營業税法及臨時利得税法ノ適用ニ關シテハ日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ハ之ヲ合併ニ因リテ消滅シタル法人ト看做シ日本肥料株式會社ハ之ヲ合併ニ因リテ設立シタル法人ト看做ス

日本肥料株式會社ガ設立ノ登記ヲ受クルトキハ其ノ拂込株金額中日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ拂込株金額ニ相當スル部分ニ付テハ登録稅ヲ課セズ

第五十條 第三十八條乃至前條ニ規定スルモノヲ除クノ外日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ガ日本肥料株式會社ト爲ル場合ニ於テ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 第三十八條第一項ノ決議ナ

キ場合又ハ其ノ決議ガ效力ヲ生ゼザル
場合ニ於テ日本肥料株式會社ノ設立ニ
關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定
ム

第五十二條 第五條ノ規定施行ノ際現ニ

日本肥料株式會社又ハ之ニ類似ノ名稱
ヲ以テ商號ト爲ス會社ハ同條ノ規定施
行後六月以内ニ其ノ商號ヲ變更スルコ
トヲ要ス

第五條ノ規定ハ前項ノ期間内同項ニ掲
グル者ニ之ヲ適用セズ

第五十三條 登録稅法第六條第一項第十
一號中「硫酸債券」ヲ「肥料債券」ニ改ム
第五十四條 硫酸アンモニア増産及配給
統制法中左ノ通改正ス

第六條ヲ削リ第七條ヲ第六條トス

第八條ヲ第七條トシ同條第二項中「日
本硫酸株式會社」ヲ「日本肥料株式會
社」ニ改ム

第九條乃至第三十七條ヲ削ル

第三十八條ヲ第八條トシ同條中「第

八條」ヲ「前條」ニ改ム

第三十九條ヲ削ル

第四十條ヲ第九條トシ同條中「本法
若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之
ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルト
キ」ヲ「前條ノ違反行爲ヲ爲シタルト
キ」ニ改ム

第四十一條ヲ第十條トシ同條中「本
法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依
リ適用スベキ罰則」ヲ「第八條ノ罰
則」ニ改ム

第四十二條乃至第四十四條ヲ削ル
第五十五條 前條ノ規定施行前硫酸アン
モニア増産及配給統制法ノ罰則ヲ適用
スベキ行爲アリタルトキハ同條ノ規定
施行後ト雖モ仍其ノ罰則ヲ適用ス

(國務大臣島田俊雄君演壇ニ登ル)

○國務大臣(島田俊雄君) 只今議題トナリ
マシタ日本肥料株式會社法案ニ付キマシテ、
提案ノ理由ヲ説明致シマス、政府ハ肥料ノ
重要性ニ鑑ミマシテ、其ノ需給ノ圓滑及價
格ノ公正ヲ圖リマス爲、從來各般ノ施設ヲ
講ジテ參ッテ居ルノデアリマスルガ、特ニ支
那事變勃發以來、是ガ供給ノ確保ト配給ノ
圓滑トヲ圖リマスコトガ一層緊要トナリマ
シタ爲、臨時肥料配給統制法並ニ硫酸「ア
ンモニア」増産、及ビ配給統制法ノ制定、
肥料配給割當制度ノ實施、其ノ他諸般ノ施
設ヲ致シテ、之ガ對策ヲ講ジテ參ッタノデア
リマス、然ル所、現在重要肥料ノ配給ハ、硫
酸「アンモニア」ニ付キマシテハ日本硫酸株
式會社、過磷酸石灰ニ付キマシテハ磷酸肥
料配給株式會社、其ノ他石灰窒素等ニ付キ
マシテハ、又別箇ノ中樞配給機關ガアリマ
シテ、是等ノ手ニ依ッテ各般ノ系統ニ依リ
行ッテ居ルノデアリマスガ、此ノ際各種肥料
ノ配給ヲ綜合致シマシテ、一元的ニ且最モ
計畫的、能率的ニ、之ヲ行フノ必要アリト
認メマシテ、即チ窒素、磷酸及ビ加里ノ調
和アル施用ニ遺憾ナカラシムル爲、現在ノ
配給中樞機關ヲ綜合致シマシテ、更ニ強力
ナルモノト爲スコトト致シタノデアリマス、

會議

(石橋書記官朗讀)

日本肥料株式會社法案特別委員

侯爵大隈 信常君 侯爵蜂須賀正氏君

伯爵橋本 實斐君 子爵松平 忠壽君

子爵伊東二郎丸君 子爵入江 爲常君

河井 彌八君 松村眞一郎君

仁井田益太郎君 男爵益田 太郎君

男爵岩村 一木君 男爵北大路信明君

有賀 光豐君 松本 眞平君

多木久米次郎君 下出 民義君

江口 定條君 佐々木嘉太郎君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第九、昭和

十三年度第一豫備金支出ノ件、日程第十、昭

和十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件、

日程第十一、昭和十三年度特別會計豫備費

支出ノ件、日程第十二、昭和十四年度第二豫

備金支出ノ件、日程第十三、昭和十四年度豫

備金外豫算外支出ノ件、日程第十四、昭和十

四年度特別會計第二豫備金支出ノ件、日程

第十五、昭和十四年度特別會計豫備金外豫

算超過及豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、

衆議院送付、會議、是等ノ七件ヲ一括シテ議

題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認

メマス、櫻内大藏大臣

昭和十三年度第一豫備金支出ノ件

昭和十三年度特別會計第一豫備金支出

ノ件

昭和十三年度特別會計豫備費支出ノ件

昭和十四年度第二豫備金支出ノ件

昭和十四年度豫備金外豫算外支出ノ件

昭和十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件

昭和十四年度特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ

因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十五年三月十九日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(國務大臣櫻内幸雄君演壇ニ登ル)

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今議題ニ供セラレマシタ昭和十三年度第一豫備金外六件

ニ關スル事後承諾ヲ求ムル件ニ付、其ノ大體ノ説明ヲ致シマス、昭和十三年度一般會計第一豫備金ノ豫算額ハ二千萬圓デア

リマスガ、昭和十三年勅令第六百三十號ニ依リ、第一豫備金ヨリ補充致シマシタル主ナル事項ハ、軍事扶助費、傳染病豫

防檢疫諸費等デアリマシテ、其ノ總額ハ千九百七十五萬餘圓デアリマス、各特別會計ニ於キマシテモ、其ノ第一豫備金又

ハ豫備費ヨリ豫算超過ノ支出ヲ爲シタルモノガアリマス、次ニ昭和十四年度一般會計

第二豫備金ノ豫算額ハ六千萬圓デアリマシテ、其ノ支出ノ主ナル事項ヲ舉ゲマシレバ、中國地方其ノ他旱害應急施設費、震

災、水害其ノ他災害ニ關スル經費、臨時物資販賣統制斡旋費、重要肥料生産確保並ニ

配給調整應急施設費、農産物其ノ他販賣斡

旋統制應急施設費等デアリマシテ、其ノ總額ハ六千萬圓デアリマス、右第二豫備金豫算拂切リトナリマシタ爲、豫備金外ニ於テ

國庫剩餘金ヲ以テ五百五十四萬餘圓ノ豫算外支出ヲ爲シタルモノガアリマス、各特別會計ニ於キマシテモ、其ノ第二豫備金ヲ以テ豫算外ノ支出ヲ爲シタルモノト、豫備金外ニ於テ其ノ歳入金並ニ國庫剩餘金ヲ以テ、豫算超過及豫算外ノ支出ヲ爲シタルモノガアリマス、何卒御審議ノ上承諾ヲ與ヘラレムコトヲ望ミマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御質疑ガナケレバ、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

(石橋書記官朗讀)

昭和十三年度第一豫備金支出ノ件外六件(承諾ヲ求ムル件)特別委員

公爵桂 廣太郎君 子爵本多 忠晃君

出淵 勝次君 田口 弼一君

男爵北島 貴孝君 男爵深尾隆太郎君

丸山 鶴吉君 水野甚次郎君

佐々木長治君

○議長(伯爵松平賴壽君) 次會ノ議事日程ハ、決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時二十九分散會

